9.識別することと決断すること

質問：皆さんの教会の決定は、どのような手順と方法で決定されているでしょうか。
共同での識別が行われているでしょうか。どうすれば、それらは改善できるでしょうか。
透明性と説明責任を、どのように促進できるでしょうか。

福音の視点から見て、識別する
日頃のコミュニケーションが根底にある、小事は大事
識別と決断のために、祈り、分かち合い、霊的な成長を深める
十分な意見交換を行ったうえで、多数決
重要なことは、役員から文書で信徒ひとり一人に照会され、意見などを聞き、評議会で決定
部会や評議会で共同識別が行われている
役員、評議会では祈りで決定し、議事録で分かち合っている
職員会議で決定されているが、管理職の判断の場合が多い（教育機関）

信徒には、教会役員から常に丁寧な説明がある
必要があれば都度書面でも説明がされていて透明性と責任は果たされている
お知らせ、教会だより、議事録等で信徒に説明する
評議会での決定事項は議事録を配布し、ミサ後のお知らせで案内している
コロナ禍で、評議会が開きにくくメールや電話で代表者に連絡して、拡散してもらっている

各地区からの要望→定例の評議会へ提案→評議会で話し合い決定
地区集会で個人の意見を吸い上げ、評議会で提案、審議され、モデラトール、担当司祭の承認を得て実行に移される
地区集会での意見が個人個人の発言であり、共同体として発せられた意見でもあることを大切にし、地区集会の充実を図ることが大切であると考える
小教区評議会が決定場所で、各部会の活動報告に、一年分の分析・評価・識別を行う
毎月１回の小教区評議会で決定
部が有り評議会で決定されている
決定は評議会、その結果の分析・評価は十分だとは思わないが行われている
教区やブロック会議での決定は評議会を通して各地区へ連絡
信仰生活で識別しながら神に助けをもらっているが、行き届かない時は誰かがやればよい

司祭や役員のおかげで進んでいる、信徒は感謝している
司祭、代表役員で主たる問題を検討し、評議会で話し合ってから決議される
司祭指導で役員が相談し評議会に諮って決定する内容と、司祭と役員で決定する内容がある
今の評議会システムは、透明性を保ち、説明責任を果たせる方法だと思う
教区、ブロック計画、部会レベルの意見などを評議会で話し合い決定する
評議会という場があるので皆さん納得されクリーンになっている

議事録を公開することで評議会の意思決定の流れはある程度分かるようになった
評議会で決定したことは各地区集会にシェアしている
評議会で決めて信徒に報告
日本語を理解できる各国の代表者が役員になっていて、それぞれの言語で説明と報告がある

評議会で役員が提示されたことは、神の選びを頭にして賛成するようにしている
ごまかしや限られた人数の癒着ではなく、真実な神の前にいつも真実な魂で向き合う
評議会や行事が行われる時には必ず始めと終わりにお祈りをする
共同宣教司牧に取り組み、その体験をした信徒もいて、ある程度は共同識別が出来る
忙しい中をたまに集まると非常に盛り上がり、最後は幸せなきもちで終わることができる
自分に関心のあること、実行可能なことには自分のペースで参加する

〈課題〉

シノドスは皆が一致して教会のことを考えることを期待している
集い、分かち合いの場を早期に設け、ともに手を携える共同体の歩みを進めたい
今回を機に話し合い、分かち合う機会をもっと盛んにしていければよい
人と人がつながり合う教会を作るために、一人一人の悩みを分かち合うための小グループを作る

全体の一致とはいかに難しいかを感じる
祈りのうちに決定していくことの必要性
会議は祈りで始まり終えてはいるが、聖書を読んでそれに基づく集まりという雰囲気ではない
信徒一人一人の霊的な成長を促す祈り、黙想などはほぼ皆無

共同識別に繋がっているかは疑問
役員は頑張っているが共同識別が行われているとは言いにくい
信者ではない教員が大半なため、共同識別ができるよう努力はしているが、完全にできない現状がある（教育施設）
共同体での識別は行われていない
長年ほとんど信徒が自主的にし、個人の思いで進められ、共同の識別が求められる
活動や行事を完遂することに議論が集中するが、目的意識をもって識別を共通認識することが大切
識別は難しい問題、教会の生き方考え方などを共有し、主に心を開いていることで互いに支え合って協調できる
会議以外の話合いの機会はあまりなく、お互いの考えをもっと共有しなければいけないと思うが、実際は困難

現状は討議や合議のない意思決定法であり、問題解決が難しいので、見直しが必要
意見があれば評議会で検討し決定されると思うが、発言しにくい雰囲気
話し合い、分かち合って決定する多数決では決められないことの難しさ

信徒全体にかかわる案件は、信徒全員による多数決で過半数の方の承認を得るまで意見を絞り込む
信徒の意見が教会の決定に反映されるように総会が決定する場であってほしいと思う人もいる
信徒からは積極的な提案や問題提起はほとんどない
多数決で決定した案は、反対意見があっても周知徹底し実行する
教会の決定は評議会や部会で行われるが、全員参加が必要
評議会は一人一人の声をできる限り拾って公正に審議・決定し、十分な説明することが必要

評議会や部会での論議が識別と言う選び方になっているかは疑問
評議会では論議と言うより皆が言いたいことを自分本位で言っている
会議後、相手の立場になって考え直し、自分の考えが正しいのかそうでないのか、神が私にどのように
させようと導かれているのかを思いめぐらすことがある
評議会審議の段階では提案の詳細を理解できないことが多々ある
小教区では識別、決断ともに評議会がその機関で、評議会参加者は 大きな責任がある

改善点は教会評議会での協議内容を積極的に発信していくこと
教会の決定は、常に一般信徒にオープンにすることが大切
決断後であっても、その後の中間報告を行うなど評議会での一層の理解を求めることが必要
小教区評議会を時々公開性にしてはどうか

コロナ禍で対話する機会が少なく、お知らせなどは、信徒に対してはオンライン等で公平に発信され、把握し、充実している
ZOOMでは意見が出しにくそうだ
意見を投書できる箱を作って入れてもらう
オンラインの新しい識別の方法を模索することもよいが、対面の識別の時期では
IT 化の活用は有効だが不完全、社会の IT 化から取り残される人が出ないように十分な配慮が必要

聖書でイエスが人と関わるときの目線を考えて、共同体の中でも発言し、物事を決める
決定判断は聖霊により頼むことで、主の祈りを唱えるなどお祈りが必要

危機感が必要、宣教会の司祭も少なくなっているが、その後の対応は不十分
高齢化という課題もポジティブに捉えることが必要であり、やれることを考えられるはず
教会が高齢化する状況で、奉仕の取捨選択のための識別は必要
役員が司祭と相談しながら教会の維持管理や必要とされることに対応、今後司祭と信徒の役割と分担を明確にする必要

仕事のある人は教会運営にあまり時間を割くことができず、大概のことが例年通りとなる
フルタイムで働いている人が教会の役員をするのは難しい
役員はやる気のある若い誰かがやればよいという感じで、担当できる人で役員がぐるぐる回っている
評議会や役員の数も減少し、いろいろな点でこれ以上のことはできない現状
限られた人の中で、複数の役割を受け持って維持している現状

教区の運営面の問題は透明であれば、信徒も手伝えるように思える
公開し、雰囲気を知ることで役員、部会などに対する認識を変えてもらえるのでは
内容を見直し残すものと残さないものを選別する必要がある
意見が色々で、何に基づいているのか、視点が様々
皆が穏やかに冷静に意見を出し、互いに歩み寄る気持ちがないと、感情的になるかもしれない
意見を聞くことにより決定するが、反対意見もあり、役員は大変

対話や議論の積み重ねが、「共同で識別や決断」につながるのでは？
他者の意見を聞き、互いに話し合い、問題点を共有し解決に向けての協力が重要
議論と識別に偏りがあり、判断を誤ったケースがある
総会で一人ひとりのことを知る
誰でも意見が言え、多忙な司祭に意見や気持ちを伝える手段として、無記名掲示板や意見箱があってもよい

行事があるときは行われるが、一人一人にどこまで伝わっているか確かめられない
教会運営はトップダウンで、会議内容や決定は必ず報告されているが、形式的なもののみ
一人一人の認識とそのための情報の提供が大切
望まれ期待されるための教会づくり、人づくり
趣味のグループで助け合うとか、同年齢のグループで集う時間を作るとか、部会はそのままで昔の壮年会、婦人会を復活させて交流を深めるとか、人と人がつながる教会になる

各部会には全員参加が原則だが、部会に属さない人には教会の活動状況がわからない
部会制度を周知徹底して全員参加することで教会活動が理解できる
規約では各部が提案、実行は各部だが、コロナ禍では役員会が提案、役員会が実行に
子どもが巣立ったら、教会を介して楽しみたいと思っている
識別が出来なくて、入ってから考えようと部会に参加して、結局その会に出なくて迷惑をかけたと後悔
部会役員は若い人に変わって、世代交代が必要

信徒として完璧を目指すことが必要か疑問
教会には神との関係だけで来ている人もいて、教会の仕事を強制できない
透明性と説明責任は、やはり司教、司祭が持つべき
透明性と説明責任は教会の誰の任務かわからない
教会内で紛糾した関心の高い問題について十分な説明が周知されなかったので、説明があればよかった
関心はあるが二の次
長くきているひとが新しいひとに伝えないといけない

教会の活動で何が大切なもので、何が副次的なものかを知りたい
教会の奉仕において、不可欠なことと副次的なものかを識別できるようになることが必要
継続すべき奉仕と不要不急の奉仕を識別できれば、信徒に共通の奉仕観が生まれる

感染対策をしながら、聖堂の清掃などを再開してもよい時期だと思う
信徒の憩いの場も感染対策を配慮しながら再開してもよいと思う

司祭への報告を信徒に求めるのではく、信徒を応援しているという司祭からの励ましがほしい
信徒に積極的にかかわろうとする司祭には好感を持つ
後から叱るより事前のアドバイスが司祭から欲しい、信者と接する時間が取れるように工夫してほしい
ミサが一番、ミサさえしていえばよいという考えを司祭も信徒も変えるべき時代

〈その他〉

説明責任は司祭に関与しているのか．司祭に教会に関する説明責任があるのか、よくわらかない
識別がどんなことなのかわからない